

K O B E
O J I Z O O

はばたき

July 1996 No.39 神戸市立王子動物園 第39号



「動物での国際交流」

神戸市立王子動物園 園長 榎藤眞禎

あの大震災から二度目のゴールデンウィークが巡ってきて、4月27日（土）から5月6日（月）までに王子動物園は145,000人ものお客様をお迎えすることができました。動物園はレクリエーションの場として、多くの市民に利用していただいていることがわかり嬉しいかぎりです。当園の年間入園者はおおよそ120～130万人ですが、昨年は約80万人と激減していました。今年は桜のシーズンからゴールデンウィーク過ぎまで、震災前の6年度と比較して約90%と順調にお客様に戻ってきていただいています。やはり動物園の第一番目の目的であるレクリエーションの場として、多くの人々に求められているのだと実感しています。

震災の年にもかかわらず、昨年もたくさんの動物たちの出産があり、順調に育っていることも私たちの誇りです。いちばん嬉しかったことは金絲猴が二度目の繁殖をしたことです。中国以外での世界初の繁殖だった「愛愛」を昨年3月に失った後なので、特別な喜びになりました。この他、新潟市の水族館から繁殖のため借りていたカリフォルニアアシカのオスとの間に初産がありましたし、ユキヒョウの三つ子、マサイキリン、コアラ、フラミンゴの繁殖など嬉しい出来事が続きました。これらの動物たちは希少種として世界中の動物園が協力して繁殖を図っているもので、当園としても日本の動物園だけでなく他国の動物園の求めに応じて協力ができるので

す。

これまでに当園は中国の友好都市・天津動物園にキリンなど24種82点の動物を送り出しましたが、中には中国原産のレッサーパンダやユキヒョウを里帰りさせるなど、中国での希少種の増殖にも成果をあげています。

中国との国交回復後すぐに、当時の神戸市長が中国の子どもたちへプレゼントされた王子のチーフフラミンゴ10羽は、北京動物園で飼育され、順調に繁殖して今では50羽にも増えて、子どもたちの人気者になっています。

またアメリカの姉妹都市・シアトルのウッドランドパーク動物園へは、我が国の特別天然記念物であるタンチョウとニホンカモシカを贈っていますが、昨年、ニホンカモシカのベビー誕生のお知らせが届きました。シアトルの子どもたちに日本の珍しい動物を見ていただけて、外国でも日本の希少種の増殖に貢献できる嬉しい成果を得ることができました。

動物園の仕事として、野生動物の種の保存も重要なことです。これは野生の動物を捕獲して飼育展示するのではなく、絶滅の恐れのある動物たちを動物園などで血統管理しながら健康な子孫を繁殖させ、野生動物を保護していくことを目指しています。我が国ではすでに特別天然記念物のトキやコウノトリ等が絶滅してしまいました。これ以上このような不幸なことを起こさないよう（社）日本動物園水族館協会では

はばたき

No.39 July 1996

今月の特集 ● 「動物の食事と消化」 & 「金絲猴の成長」

CONTENTS ● 目次

(敬称略)

P1. 表紙 シロサイ

写真:兼光秀泰

P2~3. 巻頭言 目次

「動物での国際交流」

文:園長 権藤真禎 写真:岸田一也

P4~5. 特集Ⅰ

ーワシントン条約の動物たちー

文:滝田政男 写真:谷岡正之、吉竹 渡
希少野生動物の商取引を規制する国際条約について解説します。野生動物を飼いたくなったときには、この条約を思い出してください。

P6~9. 特集Ⅱ ー動物たちのエサー

文:滝田政男 写真:岸田一也、滝田政男、吉竹 渡、川上博司、兼光秀泰、中筋功二、芦田雅尚、石川康司
動物園でのエサや、動物たちの食事風景を紹介します。エサの時間もお知らせしますので、見学のときに役立ててください。

P10~11. アオサギ

文:村田浩一 写真:福田元二

P12~13. 特集Ⅲ

ーエサの消化と消化管ー

文:浜 夏樹 写真:浜 夏樹、石川康司
動物の胃や腸の形や機能は、食べているエサによって異なっています。草を食べるウシには大きな胃がありますが、どうしてでしょうか？

P14~P15. 飼育トピックス

ーキンシコウの繁殖と成長ー

文・写真:岸田一也
キンシコウファミリーに新しい仲間が加わりました。今年3月24日に誕生した雌の赤ちゃんです。出産から成長までの様子をお知らせします。

P16. 動物そうだん室

なぜ？ どうして？

ゾウの腸の長さはどのくらいですか？ ライオンは？

文:浜 夏樹 写真:谷岡正之

ゾウの腸の長さは33mもあるんですって！

ZOOっとタイムズ No. 5

漫画:川上博司

今回はネズミとカバが主人公です。

P17. ふれあい広場から

ーウサギの雌雄判別ー

文:小出美紀 写真:村田浩一

子ウサギの性別を見分けるのは案外むづかしいものです。クローズアップの写真で見比べてください。

P18~P19. トピックス

特別展「ゾウの世界」

文:安宅範子 写真:谷岡正之
動物科学資料館では今、実物大のゾウの模型や糞の標本を間近に見ることができます。オナラの音も聞けますよ。インドゾウ「太郎」が帰ってきました！

文:穴戸正芳 写真:中林茂雄

ゾウの全身骨格標本が完成しました。

動物園ニュース

文・写真:渡瀬日司、末原 護

写真:村田浩一、川上博司、兼光秀泰

編集後記

文・滝田政男

P20. 裏表紙 サイの歯

写真:村田浩一

サイの奥歯の実物大写真です。チンパンジーの歯と見比べてください。

表紙動物の解説

シロサイ 文・写真:兼光秀泰

陽を受けて遊ぶウサギたち

「種の保存委員会」のもとで、47種の動物を定め、各地の動物園が分担して血統登録や繁殖計画を作成し実行していますが、我が国だけでなく世界各国の組織と協力する必要があります。当園でも種の保存のための仕事として友好都市間だけでなく、ブリーディングローン（繁殖のための貸し借り）を積極的に行い、貴重な野生からの預かり物としての希少動物の保護・増殖に今後とも一層努力していきたいと思っています。

このように当園生まれの動物たちが世界各地の動物園で子孫を残していることは神戸市民の誇りでもあります。これからも国際都市神戸の王子動物園が継続して国際化を推進すべきものと考えています。

皆さんは「ワシントン条約」という言葉を聞かれたことがありますか。この条約で取引が規制されている動物は王子動物園にもたくさんいます。今回はその動物たちを紹介しましょう。

ワシントン条約とは

国際取引を制限することで、絶滅する心配がある貴重な野生動植物を保護しようという目的で、1973年にアメリカのワシントンで採択された国際条約です。正式の名前は「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約 (Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora)」といい、頭文字をとって「CITES」(サイテス)ともいわれます。現在、世界で126の国が加盟しており、約35,000種の野生動植物の取引を規制しています。日本も1980年(昭和55年)に仲間入りしました。

付属書 I、II、III

ワシントン条約では、絶滅のおそれがあり、保護が必要と考えられる野生動植物の種を付属書にリストアップし、絶滅のおそれの程度に応じてⅠ～Ⅲに分類し、国際取引の規制が決められています。

現在付属書Ⅰには最も絶滅のおそれがある557種、Ⅱに264種が指定されています。なお、この指定は約2年半ごとに締約国会議を開き、実情に合った見直しが行われます。



アフリカタテガミヤマアラシ (付属書 Ⅲ)



シロフクロウ（付属書Ⅱ）

皆さんにお願い

ペット動物の過熱などから「珍しい」「きれい」等の理由で、許可にならないものを持ち込む人たちがいます。買う人がいるから違反してでも持ち込もうとするのです。それが密猟者をつくり、飼育環境の悪さにもなり、ひいては貴重な動物たちの絶滅につながるのです。ですからワシントン条約では生きている動物だけでなく、毛皮や骨などを加工したものも対象になっています。



ローランドゴリラ（付属書Ⅰ）

王子動物園には

王子動物園には200種類、約1,300点の動物たちが暮らしていますが、そのうちワシントン条約で規制されている動物は、1996年6月現在106種類、約550点います。

区 分	王子動物園にいる該当動物
付属書Ⅰの動物	金絲猴、ゴリラ、ゾウ、アムールトラ、ウマグマ、レッサーパンダ、シロオリックス、タンチョウ、インコ類、ナイルワニなど 36種類
付属書Ⅱの動物	リスザル、ライオン、サイ、カバ、オオコウモリ、ホッキョクグマ、フラミンゴ、シロフクロウ、ビルマニシキヘビなど 55種類
付属書Ⅲの動物	ヤマアラシ、ビントロング、シタツング、オナガガモなど 15種類

学名札の赤、黄、緑のマーク

希少な動物たちを絶やすことがないように、日本だけでなく世界各国の動物園と協力して飼育下での繁殖に努力しています。これは動物園に課せられた大きな義務であり、大切な仕事でもあります。

王子動物園では学名札（説明看板）に、付属書Ⅰの動物には赤色、Ⅱの動物には黄色のシールを貼って、皆さんにお知らせしています。（緑色のシールは日本の特別天然記念物です。）

「ちょっと失礼！お食事拝見」

王子動物園には、現在200種、1,300点の動物たちがいますが、エサの種類や量、調理の仕方は（動物の）種類ごとに違います。また、動物たちの健康状態や年齢、食事時間、季節などによってもエサを変えることがあるため、非常にたくさんのメニューになっています。

動物たちの一番の楽しみは、やはり食事でしょう。飼育係は、動物たちの顔を思い浮かべながら心を込めてエサをつくっています。ですから喜んで食べてくれたら、ほんとうにうれしく、また食べてくれないときはとても心配になります。

飼育係からのお願い

お菓子や果物等を動物たちにあげると、動物たちは体調をこわしたり、病気になることがあります。食べ物をあげないよう皆様のご協力をお願いします。

一方、動物たちの食事については来園者の皆様にも興味があるようです。どんなものを食べているのですかとか、食事時間はいつですかという問い合わせが多く寄せられます。

そこで、今回は「動物たちのエサ」について特集を組みました。エサのすべてを紹介することはできませんが、食事風景が観察できる主な動物たちに登場してもらいました。

長い時間かけて食べる動物は見やすいのですが、すぐ食べ終わったり、時間が変わると見られないこともあります。



ルーセットオオコウモリ



オオヤマネコ



シロサイ



カリフォルニアアシカ



チンパンジー



ヒョウモンガメ



コゲラ



オジロワシ



コイカル



フラミンゴ



ボウシインコ

食事中の動物たち



キンシコウ

「おいしいな」



アムールトラ



ホッキョクグマ



クィーンズランドコアラ



モイロペリカン



カビアルモドキ



ペンギン



フラミンゴ



カバ



インドゾウ

動物たちの食事時間

動物の名前	食事風景が見える時間		飼育係からの耳寄り情報
	午前	午後	
フラミンゴ	開園前に食べるんだ	1:00	ふ化した直後のヒナのクチバシは真っすぐで、親からのエサをもらいやすくなっているよ。
コアラ	—	1:00	ユーカリを取り替える時間。コアラたちも起きて、さあ食事。
インドゾウ	9:00	4:00	長い鼻で豆もつかめるよ。カボチャをかむ音が聞こえた？
カリフォルニアアシカ	開園前に食べるんだ	1:15	午後のときは、ご希望の方はエサやりができますよ。
金絲猴	開園前に食べるんだ	4:00	主食は木の葉なんだ。お昼にもおやつをあげるよ。
チンパンジー	9:00	4:00	親指は食べる時大切な指なので、歩くときには使わないよ。午後4時ごろからの寝室の方が見やすい。
ペンギン	—	2:00	アジをどこから食べるのかな。(頭、お腹、しっぽ???)
カバ	9:00	3:30	カバのランチってすごくおいしそう。午後寝室に見にきてね。

注) およその時間です。また動物の健康状態などによって、時間が変わることや見られないこともありますので、ご了承ください。



アオサギ

(英名 : Grey Heron、

学名 : *Ardea cinerea*)

涼しげな水の流れの中で、大きな魚をとらえて満足そうなアオサギ。主に川や水田などの水辺で採食するかれらのメニューには、魚の他にカエルやイモリ、ザリガニなども入っている。首をS字状に曲げてじっとエサを待ち、チャンスがくれば瞬時に首をのばし、すんどいくちばしで獲物をはさんでとらえる。

動物園には、ペンギンのエサの時間にやって来て、飼育係のいない間に魚を失敬してゆく常連さんがいる。



写真：福田元二
(動物写真家、元王子動物園職員)

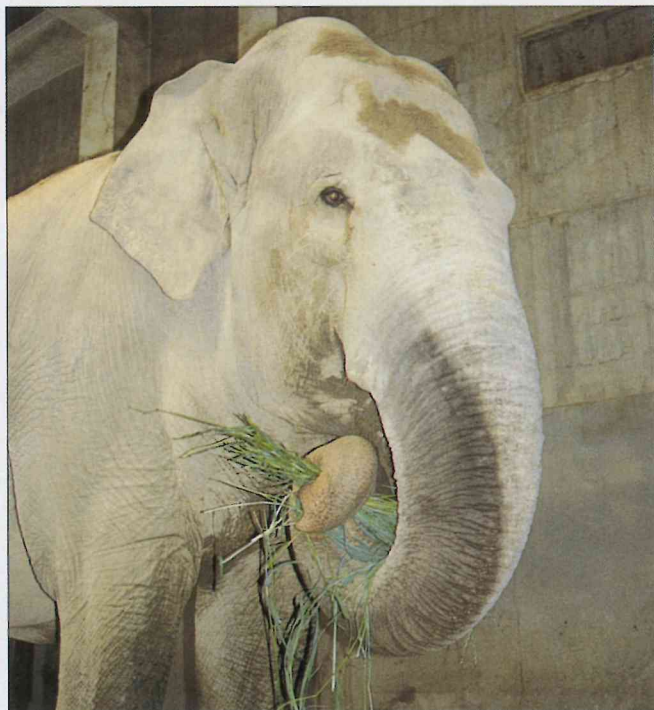
エ　　サ　　の　　消　　化

エサ（食物）の消化は炭水化物の消化、タンパク質の消化そして脂肪の消化の3つからなり、それぞれ消化酵素によって炭水化物は糖類に、タンパク質はアミノ酸にそして脂肪は脂肪酸とグリセリンに分解されます。そして、主食となる食物の違いで消化管の作業場所や構造が決まります。動物タンパク質を食物とする肉食性の動物では、消化は主に胃でおこなわれ、ペプターゼの一種のペプシンという消化酵素で消化をおこないます。炭水化物を多く含む食物を主食とする草食性の動物では口の中や臍臓で分泌されるアミラーゼが重要な働きをします。また、植物細胞壁をつくるセルロースを分解するために消化管内の微生物の手助けが必要です。



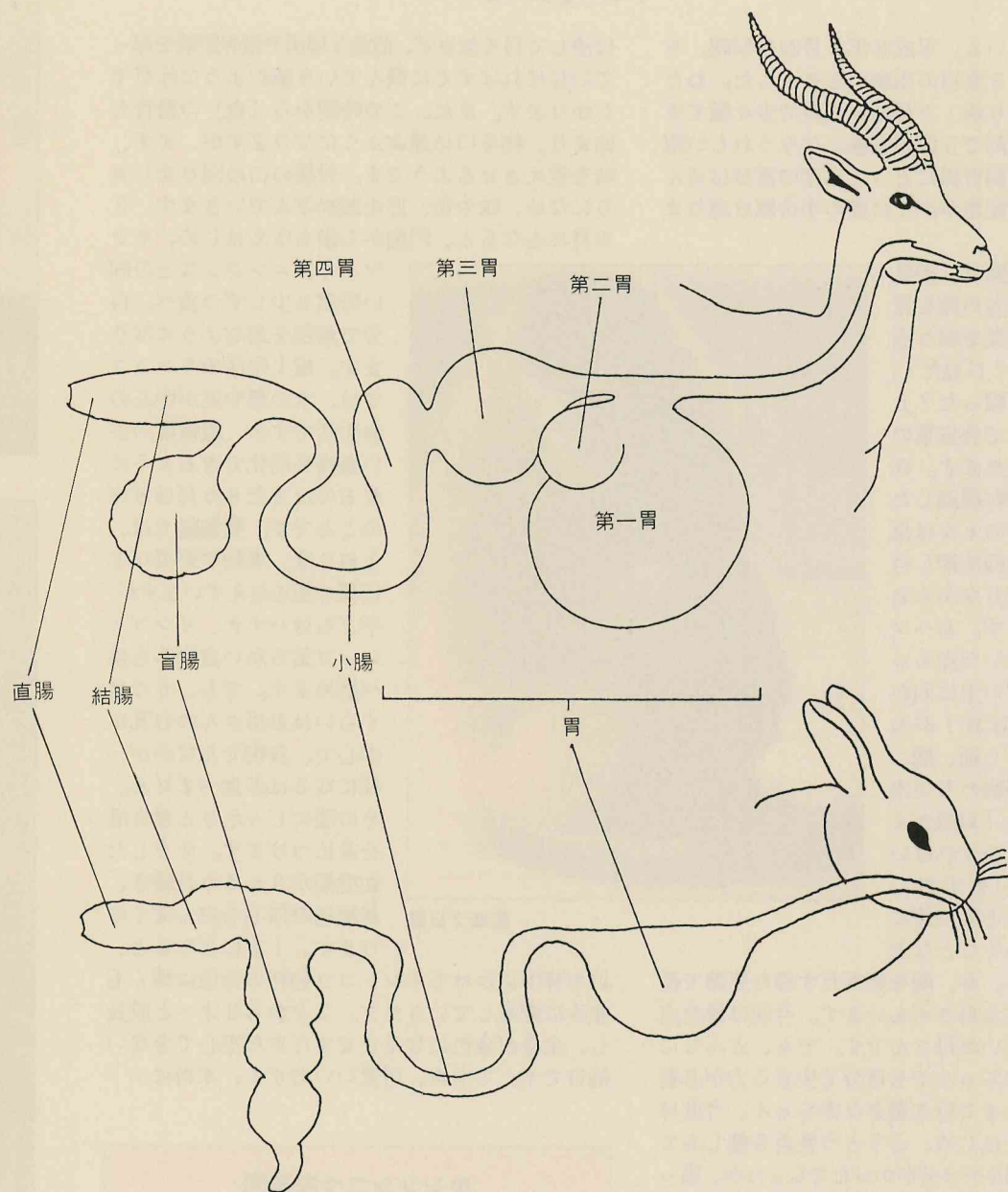
ウシ科動物は前胃発酵型動物代表格（シロオリックス）

食性の違いと消化管の構造



ゾウは草食性で後腸発酵型動物（インドゾウ）

動物の消化管は、口～食道～胃～小腸～盲腸～大腸と並ぶのが基本です。しかし、動物の食性によりそれぞれの臓器の構造が違います。消化吸収率のよい動物性タンパクを主食とする肉食性動物の場合、消化は主に胃でおこなわれ、小腸以下はかなり短くなっています。草食性の動物は、セルロースを分解し発酵するために微生物を消化管内に住まわせていますが、その部位から大きく「前胃発酵型」と「後腸発酵型」に分けられます。前胃発酵型とは本来の胃の前に微生物を住まわせるタンク（前胃）を持っている動物で、皆さんもご存じのとおりウシ、ヤギ、シカの第一胃がこれにあたります。また霊長類にも前胃を持つ種がいます。王子動物園で人気をあつめているキンシコウがそれです。キンシコウの主食は木の葉で、前胃にいる微生物の助けを借りてセルロースを分解しています（アビシニアコロブスやフランソワルトンもこの仲間です）。一方、後腸発酵型の動物はウサギやウマのように盲腸が発酵タンクの役割を果たしているものと、類人猿やその他の多くのサル類のように大腸が発酵タンクの役割を果たしているものとがあります。



ウシ科動物（上）とウサギ（下）の腸管の比較。

前胃発酵型動物の代表のウシ科動物は発酵胃（第一胃）で、後腸発酵型動物の代表のウサギは盲腸でそれぞれ微生物による発酵をする。

ウシ科動物のイラストは、動物大百科17動物の体P44の図を一部改変

キンシコウの成長

あ…生まれている。平成8年3月24日早朝、キンシコウ一家に3度目の出産がありました。わたしたちの予測より約1カ月早い出産で少々慌てました。でも、全部で5頭の家族になりうれしい限りです。ただ、飼育係にとって出産の喜びはほんの数秒間で、心配事が次々に頭の中を駆け巡ります。

第1番目の難関は、授乳の確認で、担当者の顔を見るたびに同じ言葉を繰り返します。「飲んだ?」「見た?」「確認した?」「吸った?」などなど。まるで合言葉のような会話が続きます。10時45分、3時間が経過したでしょうか、赤ちゃんは母親の胸に小さな顔を押し付け首を左右に振りながらお乳を探しています。おへそ近くで抱かれていた赤ちゃんは、力いっぱい上に向かいます。「がんばれ!がんばれ!もうすこし横、横、ああ反対!」動物たちの出産があるたびに「お母さんがそっと手助けをすればいいのに」と思いますが、「ここですよ」と顔の前にお乳をもっていくことなど

決してしません。が、胸を突きだす様な姿勢で授乳を促す上手なお母さんもいます。今回は総合点で90点をあげたいお母さんです。でも、どんなに弱い、小さい赤ちゃんでも自分で生きる力が必要です。首の近くまで行き過ぎた赤ちゃん。今度は上から下へ降りはじめ、とうとう乳首を捜しあてました。その間2〜3分かかったでしょうか。吸ってる、吸ってる、小さな口いっぱい乳首を吸い込みお乳を飲んでいきます。「チューチュー」と音が聞こえそうです。この瞬間はじめて「よかったなぁー」「赤ちゃんが生まれたんだな」と実感がわきます。

次に、お乳が十分に出ているのかを確認しなければなりません。250g程度の小さな体ですが、目や手足の力、顔のシワなど日々成長する過程をしっかりと見極めることが大切です。1カ月も過ぎるころには、安全と思われる床や低いおどり場のようなところで赤ちゃんを自由に遊ばせることができます。でも、しっかりと尾はにぎって放しません。お母さんにとって気の抜けない日々が続きます。生後2カ月ごろから教育が始まります。お母さんと体の一部が触れ合っている程度の遊びから50cm、1mと行動範囲を広げていきますが母親

は決して目を放さず、危険な場所や限界距離を保っていない飛ばすに飛んでいき噛むような仕草でしかります。また、この時期から「食」の教育も始まり、物を口に運ぶようになりますが、まず、味を覚えさせるようです。母親の口の回りをしきりになめ、味や色、形を順次学んでいきます。3カ月にもなると、門歯から歯も生えはじめ、サツ

マイモ、ニンジンなどの固い野菜も少しずつ食べ、自分で食物を運ぶようになります。樹上生活のキンシコウは、木の葉や実が中心の食生活ですが、繊維質の多い食物を消化できるようになるのはまだ8カ月ほど先のことです。動物園では、1日2度、果物や野菜など12種の餌を与えていますが、子どもはバナナ、リンゴといった柔らかい食物から食べ始めます。でも、6カ月ぐらいいはお母さんのお乳が中心で、食物でおなか一杯になるほど食べません。その間にしっかりと食生活を身につけます。そうした幼児期が3〜4カ月続き、茶褐色の体毛も白っぽくなります。1才にもなると、

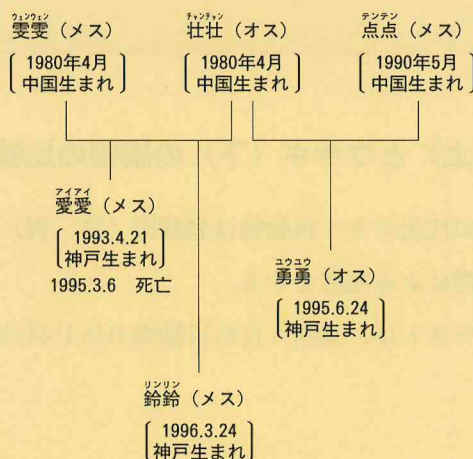
肩や背中にかけてキンシコウ独特の金色に輝く毛並みに変身していきます。2才から3才へと成長し、全身が金色になるまでまだまだ安心できない毎日です。でもネ、可愛いですよ、本当に!



生後2日目



キンシコウ家系図





1 ヲ月半



2 ヲ月半



3 ヲ月

動物そうだん室 なぜ? どうして?

Q. ゾウの腸の長さはどのくらいですか? ライオンは?

A. こんな質問を受けたことがあります。さてどうでしょう。

動物の腸は肉食性では短く、草食性では長いということはもう皆さんご存じでしょう。では実際どれくらい違うのでしょうか。王子動物園で死亡した動物について、腸の長さが体の長さの何倍になるのかをほ乳類と鳥類についてそれぞれの食性に分けて調べてみました(下表)。その結果、草食性のほ乳類の代表格の偶蹄類ではニホンジカ、マサイキリンが約12倍、ミミナガヤギが約20倍でした。一方、肉食性のネコ科、イヌ科は2~3倍でした。また鳥類でも肉食性のフクロウ、ペリカンが1.5~2倍であったのに対して、草食性のオウム類が3~5倍、ダチョウが9倍と肉食性より

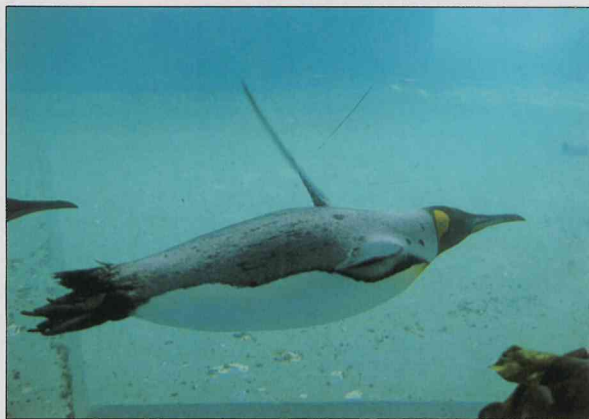
草食性の鳥の方が長いことがわかりました。しかし、ほ乳類にも鳥類にも明らかに肉食性であるのに長い腸を持つ動物がいました。カリフォルニアアシカとペンギンです。かれらはともに水中生活に適応した動物で、その体の形は他のほ乳類および鳥類とは異なり水中で活動しやすいようにコンパクトな流線型をしています。この体のコンパクトさのために比較的長い腸となっていると考えましたが、どうでしょうか?

ちなみに、アジアゾウの太郎の腸の長さは約33mで体の長さの約8倍でした。

食性	ほ乳類	鳥類
草食性	偶蹄類 10~20倍	オウム類 3~5倍
	アカカンガルー 5~10倍	ダチョウ 9倍
肉食性	ネコ科 2~3倍	フクロウ類 1.5~2倍
	シンリンオオカミ 3倍	ペリカン 1.5~2倍
	カリフォルニアアシカ 20倍	ペンギン 5~10倍



カリフォルニアアシカ



キングペンギン

ZOOっとタイムズ●No.5

まんが:かわかみひろし



ウサギの雌雄判別

—子ウサギのオス・メスの見分け方—

このごろ、ちょっとした小動物ブームで、本屋にもハムスターの飼い方だとか、ウサギの飼い方の本がたくさん並ぶようになりました。ふれあい広場にも、ハムスター・モルモット・ウサギについての質問の電話がよくかかってくる。ふれあいコーナーで、お客さんから自分の家で飼っているウサギやモルモットの相談をうけることもあります。1番多いのは「ウサギがこどもを産んでしまったんですが、どうしたらいいですか?」という質問です。寂しいとかわいそうだからと思って2匹で飼っていても、それがオスかメスかわからなかったという場合があります。特に子ウサギの時には、オスかメスかわからないでペットショップから買ってくる人が多いようです。オスとメスを見分けることが難しい種類もありますが、ウサギの場合は比較的簡単です。ただ、絵で見てもわかりにくいと思いますから、写真でお見せしましょう。生後3週間ぐらいのウサギならはっきりと、それ以前のもっと幼いものでもかなりよく判別できます。

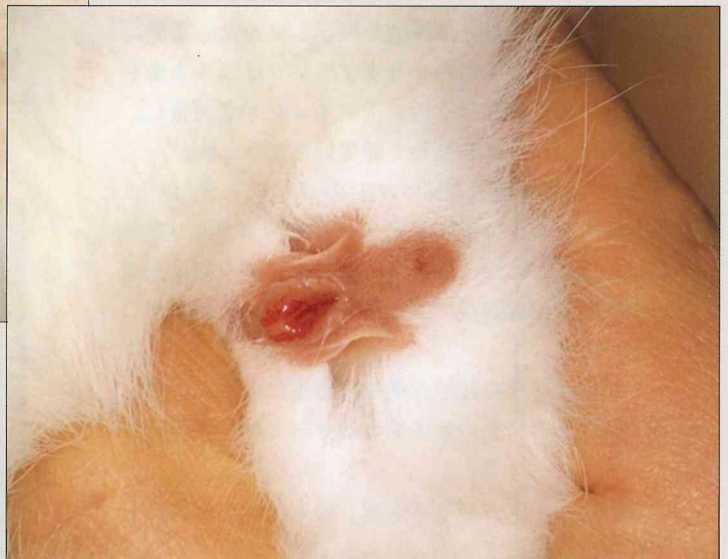
ふれあい広場から

ウサギをあお向けにして、陰部のところを上下に指ではさんで押し出すようにします。オスなら写真のように筒状に突起が出てきますが、メスは筒状になりません。(ワッフルを半分に切ったような形に近いでしょうか!?) あなたの家や学校の子ウサギの性別を見てあげて下さい。知らないうちに妊娠することや成長してからの闘争を防ぐことができます。

ちなみに、ウサギは一匹で飼っても寂しさのあまり病気になったりすることはありません。また、突然の出産にびっくりしても、決して子ウサギを触ってはいけません。メスウサギが子ウサギを放ったらかしにしているように見える時も同様です。ウサギの子育ては犬や猫とはちがいます。それでも、どうしても子ウサギに触れる必要がある時は獣医さんかふれあいコーナーに一度相談して下さいね。



♂ (オス)



♀ (メス)

トピックス



特別展「ゾウの世界」

地上最大の動物で人気者・その秘密を探る
1996年3月20日～9月3日まで
動物科学資料館にて

ゾウがどれだけ大きいかを体験できるようにインドゾウの実物大の立体模型を展示しました。裏側に回ると内臓の様子もわかります。ゾウは食べる量もけた違い。ここではそのダイナミックさを実感し、ゾウの体のつくりを楽しく見ていただけます。

また、「何でもあるゾウ!」のコーナーではゾウの置物やテレホンカードなどゾウグッズ約300点が並び、見ごたえがあります。これは、東京都葛西臨海水族園の祖谷園長の個人コレクションをお借りしたものです。

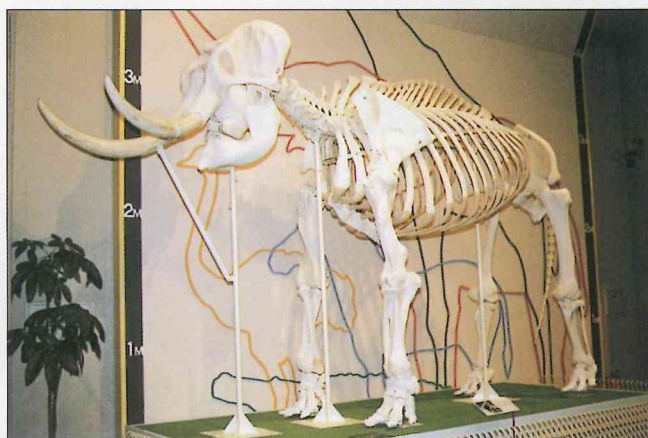
その他、ゾウの起源や進化、野生での生息状況、王子動物園のゾウの歴史やエピソードなども展示しています。

常設展のインドゾウ「太郎」の全身骨格と併せてご覧ください。

インドゾウ「太郎」が帰ってきました!

1994年1月、急性心不全のため47歳（雄では国内最高齢）で急死したインドゾウ太郎の全身骨格標本が、この3月7日から動物科学資料館で展示されています。

運動場の堀に落ちたり、オリを破って園内散歩を楽しんだかつてのいたずら者が、高さ3メートルを超える標本に生まれ変わりました。“自慢の長い鼻には骨が無い”ことなども一目でわかる国内でも珍しい貴重な資料です。



インドゾウの全身骨格

かわいい赤ちゃんが相次いで誕生しました



シタツンガ
1996年5月8日生

金絲猴（14～15ページ参照）、エジプトルーセットオオコウモリ、クィーンズランドコアラ、ケープハイラックス、ヨザル、フンボルトペンギン、アカコンゴウインコ等にも赤ちゃんが生まれました。



エミュー
1996年3月2～12日生



カリフォルニアアシカ
1996年5月23日及び24日生

動物園入口に『動物の時計塔』が完成しました。

阪神・淡路大震災の際、動物園に寄せられました義援金でこのたび動物の時計塔を製作しました。

午前9時、正午、午後3時の一日3回、童謡の「ゾウさん」の歌を流して時間を知らせています。

オジロワシが新しく仲間入りしました。

1996年2月3日に、福岡市動植物園からオス1羽が、続い

て4月22日には東京都多摩動物公園からメス1羽が来園し、園の人気になっています。

局および協会が統合されました。

1996年4月1日、神戸市の組織改革が行われ、王子動物園は「建設局」の所管となりました。

また、園内の売店、印刷物の発行などを行っている（財）神戸王子動物園協会は（財）神戸市公園緑化協会に統合され、その動物園事業部として再スタートすることになりました。



動物の時計塔

編集後記

「はばたき」第39号をお届けいたします。

1974年3月15日以来、22年間にわたりこの「はばたき」を発行してきた（財）神戸王子動物園協会は、このたび（財）神戸市公園緑化協会に統合されました。

本誌は、今後とも継続して発行することになり、編集を担当している動物園の職員もまずは一安心しています。今後より一層皆様に愛される情報・機関誌に

するため頑張りたいと思いますので、よろしく願い申しあげます。

（財）神戸市公園緑化協会発行の第1号になる今号は、動物園で暮らす動物たちのお食事拝見や5頭の賑やかなファミリーになった金絲猴などを特集しました。この記事を読みながら園内を回っていただき、新しい発見をたくさんしてください。



いずれも原寸大

サイの奥歯（臼歯）
小さい歯はチンパンジーの奥歯



表紙動物の解説

シロサイ

White Rhinoceros

アフリカ南部および北東部の乾燥サバンナに生息。体は灰色（生息地の土の色により変化する）で、ほとんど毛がない。妊娠期間は約16カ月で、約65kgの仔を産む。1産1子。

インドサイやクロサイは、基本的に単独で生活するが、シロサイは雌だけで7頭以下の小さな群れをつくることもある。雄は他の種類と同様に単独で生活する。シロサイは、幅の広いくちびるを持ち、背の低い草をむしり取ることができる。これに対しクロサイは、上くちびるの先が動くようになっていて、小枝を引き寄せ食べることができる。

名前の由来もこれに関連しており、シロサイの場合、くちびるの特徴からワイド（幅広）というのがホワイト（白）と聞き違えたという説と、生息地の土の色から黒や白に見えたためという説がある。

王子動物園には、「サブロウ」（オス）と「ナナ子」（メス）の2頭がいる。現在ともに26歳。

写真はナナ子で、体重2,120kg。（1993年6月計測）



はばたき39号

平成8（1996）年7月20日

編集：神戸市立王子動物園

TEL 078-861-5624

発行：（財）神戸市公園緑化協会

TEL 078-801-5711

神戸市灘区王子町3丁目1

デザイン・印刷：（株）旭成社

TEL 078-222-5800(代)